

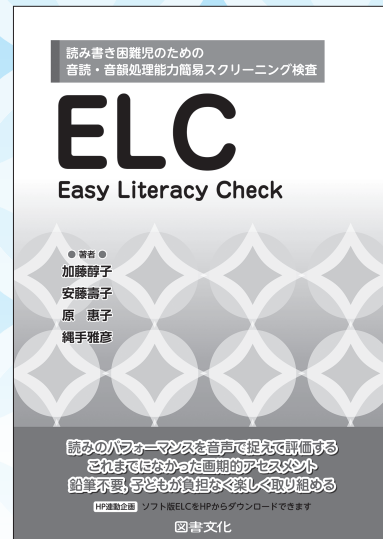
音声で読みのパフォーマンスを捉える、鉛筆不要のアセスメント!

読み書き困難児のための
音読・音韻処理能力簡易スクリーニング検査

ELC

加藤醇子・安藤壽子・原恵子・縄手雅彦 著

B5判/48頁 定価 1,944円 (本体1,800円+税 8%)



推薦の言葉 読み書きの土台となる「音韻の力」の検査

ことばがどのような音でつくられているかに気づく能力は、5歳頃までに発達し、子どもたちは「さかさことば」や「しりとり」などの言葉遊びをするようになります。このような能力が土台となって、小学校での読み書きの学習が進んでいきます。小学校低学年生にはこの能力が遅れている子どもたちがいますが、一斉授業では

なかなか気づくことができません。読み書きで苦勞しているお子さんに ELC を実施して、今後の学習の備えとすることを強くお勧めします。

大石敬子
(東京都保健医療公社多摩北部医療センター非常勤言語聴覚士)

WEB連動企画 ソフト版ELCで検査が楽しく!

ソフト版 ELC を使うと、読み書きが苦手な子どもでも PC ゲーム感覚で課題に楽しく取り組むことができ、検査への負担感が少なくなります。また、検査中の子どもの反応(回答と反応時間)が、PC に自動記録されるので、検査者にとっても便利です。本書の購入者は、ソフト版 ELC を WEB 上から無料でダウンロードできます(ソフトを使わず、書籍のみでも ELC は実施することができます)。



おもな目次

- 1章 音読・音韻アセスメントの必要性
- 2章 ELC 実施マニュアル (評価用紙/課題用紙)
- 3章 結果の解釈
- 4章 ソフト版 ELC

検査内容について

検査対象：おもに小学校2～3年生
(※4年生以上への実施の留意点については書籍をご覧ください)
実施時間：約 10 分間
課題構成：(1) 短文音読課題, (2) 音韻操作課題, (3) 単語・非語音読課題
※ELC は教育現場で子どもの音韻困難を検出することを目的としています。
ディスレクシアの診断に使えるものではありません。

注文票	●取扱店	●学校名										
		お名前										
	読み書き困難児のための音読・音韻処理能力簡易スクリーニング検査ELC ●定価1,944円	冊										
		冊										